

協議会等	沼島航路確保維持改善協議会
評価対象航路	沼島航路

二次評価結果

○事業実施の適切性について、評価できる。

運航回数は計画を下回ったが、これは悪天候を要因とした安全確保のための欠航であり、それ以外は、基本的な感染症防止対策を実施し、定期運航を確保した。

○目標と効果の達成状況については、評価できる。

旅客輸送量は、初めて14万人を超えた。これは、島民や島外からの利用増に繋がる関係者の様々な取り組みや旅客船事業者が安全運航を確保した上で、観光需要に適切に対応したことが功を奏したものである。

収益は、輸送量の増加によって拡大したが、船員費や燃料価格高騰等により費用が拡大、赤字となった。しかし、航路改善計画に基づく経費の削減に努めた。

○まとめ

全体を通して、評価できる。

関係者と連携して観光資源を磨き上げ、利用客の増加に向けた取り組みを行うなど運航収益の増加を図り、適切な船舶の運航を図ることで経費を削減しつつ、利用者が安心して利用できる公共交通機関として、引き続き安定的な航路の確保維持に努められることを期待する。